

【外国語・外国語活動】

■児童の状況	・本校の児童は、外国語の音声や表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを楽しむことができる。 ・高学年の児童の中には目的意識や相手意識をもちながら学習に取り組んでいる児童も多くいる。 ・一方で、外国語に際して不安や抵抗があり自信をもって発話に抵抗のある児童もいる。
■指導についての課題	・児童が主体的に学習に取り組むことができる指導技術の向上 ・児童が自信をもって、発話できる支援や指導の工夫、改善
■授業改善に向けての具体的な方策	①言語活動の充実。 ★目的・場面・状況の設定の工夫 ・児童の意欲を引き出す発問の工夫 ・セリフの発表会からの脱却 ・指導者が自らのことを英語で話す導入（スモールトーク） ②学びの過程の工夫 ★聞く→話す→読む→書く 流れを大切に行っていく。 ・Inputの時間を十分に確保した授業作り ・デジタル教科書などICTを活用した個別最適な学び ・スモールステップの足場掛けのある授業 ・見通しのもてる授業計画 ③ねらいとALTの役割を明確にしたチーム・ティーチング ・出身国の生活や風習を紹介し、異なる文化に対する児童の視野を広げる。 ・正しい発音を提示し、児童が英語固有の音声に慣れ親しむようにする。